

令和 6(2024)年度 春季総合体育大会

サッカー競技 実施要項

1 期 日

5月12日(日)、18日(土)、25日(土)、30日(木)、6月1日(土)、8日(土)
(予備日) 大会期間中の試合可能日

2 会 場

1 回 戦 5 月 12 日(日)スポ森、希望が丘、金亀公園、近江兄弟社高校、彦根総合高
校
2 回 戦 18 日(土)スポ森、綾羽高校、光泉高校、近江兄弟社高校、彦根総合高校
3 回 戦 25 日(土)BLC、スポ森、希望が丘
準々決勝 30 日(木)BLA、BLB
準 決 勝 6 月 1 日(土)布引運動公園陸上競技場
決 勝 8 日(土)布引運動公園陸上競技場

3 試合開始時刻(基準)

| | 第1試合 | 第2試合 | 第3試合 | 第4試合 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1・2回戦 | 10:00 | 11:30 | 13:00 | 14:00 |
| 3回戦 | 10:00 | 12:00 | 14:00 | |
| 準々決勝 | 11:00 | 13:30 | | |
| 準決勝 | 11:00 | 13:30 | | |
| 決勝 | 11:00 | | | |

※ただし、1～3回戦は会場によって試合時間が異なる場合もある。

4 大会規定

(1) 試合時間は35—10—35(70分)

HT は前半終了の笛から後半開始までの時間

勝敗の決しないときの次回戦に進むチームの決定方法

1～2回戦→ペナルティーキック方式(PK戦)

3回戦以降→10-1-10(20分)の延長戦

その後、勝敗の決しないときはPK戦によって次回戦に進むチームを決定する。※3回戦以降の試合で延長戦やPK戦により試合時間が長引いた場合は、ピッチアップの関係で試合終了後30分後に次の試合を開始する。

- (2) 選手エントリーは事前に提出した25名
試合毎にメンバー用紙で先発選手11名と交代要員9名以内の登録を行う。なお統一されたユニフォーム(カラー、デザイン、プリント等)を使用し、番号は1番～25番とすること。また、選手交代は6名までとする。ただし、準決勝、決勝は5名までとする。

選手交代は、後半の交代回数を 3 回までとする。(1 回に複数人を交代することは可能)。また、前半やハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。延長戦に入った際、交代回数を1回追加するが、交代人数の追加はない。

交代は随時、主審の許可を得て行う。この場合、必要事項を記入した選手交代票を本部または第4審判まで提出し、ハーフウェイラインより入ること。

- (3) 選手エントリーの変更および追加は、毎試合最大5名に限り認められる。
この場合選手エントリー変更届をメンバー表に付して、本部に提出する。なお背番号の変更は認めない。

ただし、インフルエンザ等感染症による選手変更および追加がある場合は、「インフルエンザ等による選手エントリー変更届」に必要事項の記入および公印の捺印をして、試合ごとにメンバー用紙に付して本部に提出する。この場合のエントリー変更は上記の5名には含まれず、上限はない。

- (4) 試合開始70分前に本部にて両チームのユニフォーム確認を行う。審判の判断によりユニフォームを決定する。

また、30分前までに、メンバー用紙に交代要員(最大9名まで)・スタッフ(最大6名まで)を含め必要事項を記入して、選手証を添えて本部および相手チームに提出しなければならない。選手証により本人確認ができない場合、その選手は出場できない。また、準々決勝以降は試合予定時刻の70分前からマッチコーディネーションミーティング(以下MCM)を行う。その際にメンバー表を提出すること。*準々決勝時のMCM会場は本部テント、準決勝・決勝時は会場内所定の場所。

- (5) ボールについては1・2回戦が4球、3回戦・準々決勝が5球、準決勝・決勝は7球マルチボールシステムで行う。(使用球:ペレーダ)

- (6) ベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、チーム役員6名とし、メンバー用紙にて特定されなければならない。特定された者の中から、その都度1名の者のみが戦術的指示を与えることが出来る。この1名の者は特定の1人に限定される必要はない。

- (7) 本大会において主審より退場を命じられた選手等は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会の規律委員会で決定する。出場停止を受けた場合、フィールド、ベンチ、ロッカールーム等の区域に立ち入ることを禁止する。観客席で観戦することは認められているが、他の選手への指示は認められない。
- (8) 本大会において累積された警告が2回となった選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (9) その他は「日本サッカー協会規則」による。
- (10) 落雷等による危険事象により審判員や大会本部より試合が中止された場合、再試合を行うことが原則であるが、大会本部の判断で残り時間の消化により試合を成立させることもある。さらに、施設面、安全管理面、日程面等で再試合が不可能な場合、大会本部において試合を成立させること、また抽選等によって勝者(次回戦へ進むチーム)を決定することもある。
- (11) 本大会は全国高校総体予選を兼ねる。優勝チームは全国高校総合体育大会への出場権を得る。また、本大会の上位16チームは滋賀県秋季高校総合体育大会においてシード権を得ることとする。